

小樽市立病院 開院 10 年の歩み

1928

2014

2016

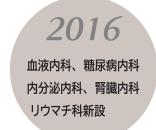
2018

2020

2022

2024

prologue 市立小樽病院開院



市立病院統合までの道のり

市立小樽病院

山ノ上病院、兵部衛小樽役所病院、官立小樽病院、小樽出張病院、小樽病院小樽派出所、小樽病院出張所、札幌病院小樽出張所、公立小樽病院、私立小樽病院



市立小樽病院（昭和6年）



市立小樽病院

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター

市立小樽病院院長、小樽市連合衛生組合附属診療所、市立小樽静和病院、市立小樽長徳病院、市立小樽診療院、市立小樽市民病院、小樽結核病院、市立高島診療所、市立小樽療養所、市立小樽市民病院附属朝霞診療所、市立小樽眼科診療所、市立小樽第二病院



市立小樽長徳病院（昭和9年）



小樽市立脳・循環器・こころの医療センター

市立病院統合新築計画

市立小樽病院、小樽市立脳・循環器・こころの医療センター、二つの市立病院の老朽化と非効率な経営を改善するため、「新市立病院基本構想」が策定された。小樽市、病院の財政状況の悪化による中断、改革プランの再編などを経て統合新築計画が本格始動した。



2012（平成24）年9月起工式

建設予定地の量徳小学校 PTA、地域住民との協議、2度の入札延期など諸問題を解決し、2003年の構想開始から9年の年月を経て新築工事が開始された。

2014.12.1 小樽市立病院開院



ヘリポート



ハイブリッド手術室



リニアック



PET-CT

【診療科目】内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、病理診断科、麻酔科

開院前日の引っ越し

開院前日の晴天の中、両院から滞りなく患者さんを無事搬送。



旧病院から搬送準備



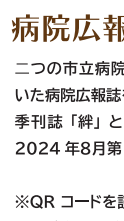
新病院へ搬送



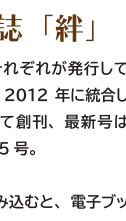
創刊号



新病院のお知らせ



開院



PET-CT
体験記



結核完成
グランドオープン



90周年の
あゆみ



コロナ特集



最新号

2018 開院 90 周年

90周年記念病院まつり、市民公開講座、記念式典挙行、記念誌発行。



90周年記念式典



90周年記念 市民公開講座



90周年記念 病院まつり



90周年記念誌

病院広報誌「絆」

二つの市立病院それぞれが発行していた病院広報誌を2012年に統合し季刊誌「絆」として創刊、最新号は2024年8月第45号。

※QRコードを読み込むと、電子ブックでご覧いただけます。

2018.9.11 ブラックアウト

北海道胆振東部地震発生により、道内全域が停電。災害拠点病院である当院は、市内の医療状況の把握と維持のため対策本部を設置。自家発電下での救急患者受け入れ、外来は休診、定期手術の延期、入院患者の食事手配など、未曾有の事態に対応した。



停電時の玄関



対策本部



停電時の病棟誌所

2020～ COVID-19

新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、外来患者の診察、入院患者の受け入れを行う他、新型コロナウイルス基本型接種施設として、後志管内で先駆けてワクチン接種を開始し、延べ13,000人に接種を行った。未曾有の激務の中、多くの市民から心温まる応援をいただき、職員一同励まされた。



病棟入口に設置した空気感染隔離ユニット（ミニティ）



職員の初ワクチン接種にマスクが殺到



来院者全員に検温してもらうサーモグラフィーの設置



放射線検査も感染対策のため2人体制



小学生からの応援メッセージ



園児からの応援メッセージ



小樽青年会議所から雪あかりで応援メッセージ



全日本司厨士協会小樽支部から応援ケーキ

2023.5 敷地内薬局

当院の敷地に、民間事業者による薬局が開局。当該建物の2階、3階に病院業務管理センターを開設。



敷地内薬局及び臨病業務管理センター



病院業務管理センター2階大会議室

2024.1 DMAT 災害地派遣

能登半島地震に対する支援のため、小樽市立病院 DMAT を石川県に派遣。福祉施設入所者の移送、物資運搬などの業務支援を行った。



小樽市立病院 DMAT



石川県へ向け出発

イベント

院内で開催する患者さんと家族のためのコンサートには市民の方がボランティアで出演いただき、大好評。地域のイベントには職員が多数で参加。



潮まつりねりこみ 小樽市立病院団



病院の雪あかりの路